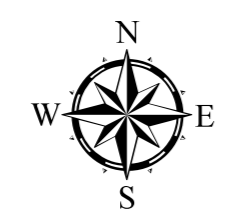


(明治三陸地震)

宮城県沿岸 広域津波防災情報図 (引潮図)

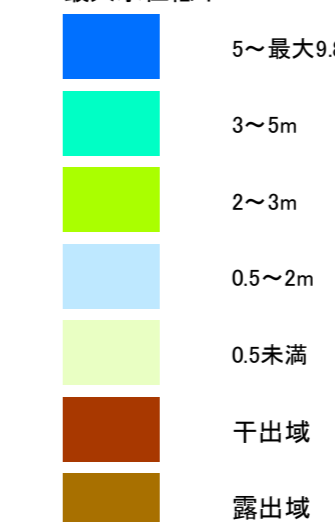


座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最低水面 (零位)
隆起量：平均 -0.01m (-0.03m ~ 0.00m)
Zo：0.92m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

凡例

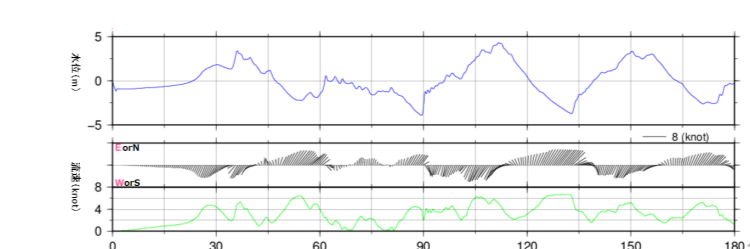
最大水位低下



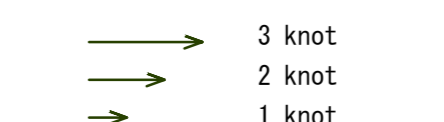
(No) 経緯変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を個別の経緯変化図で示す。)

(No) 水位・流向・流速経緯変化図



引潮時最大流 [knot]

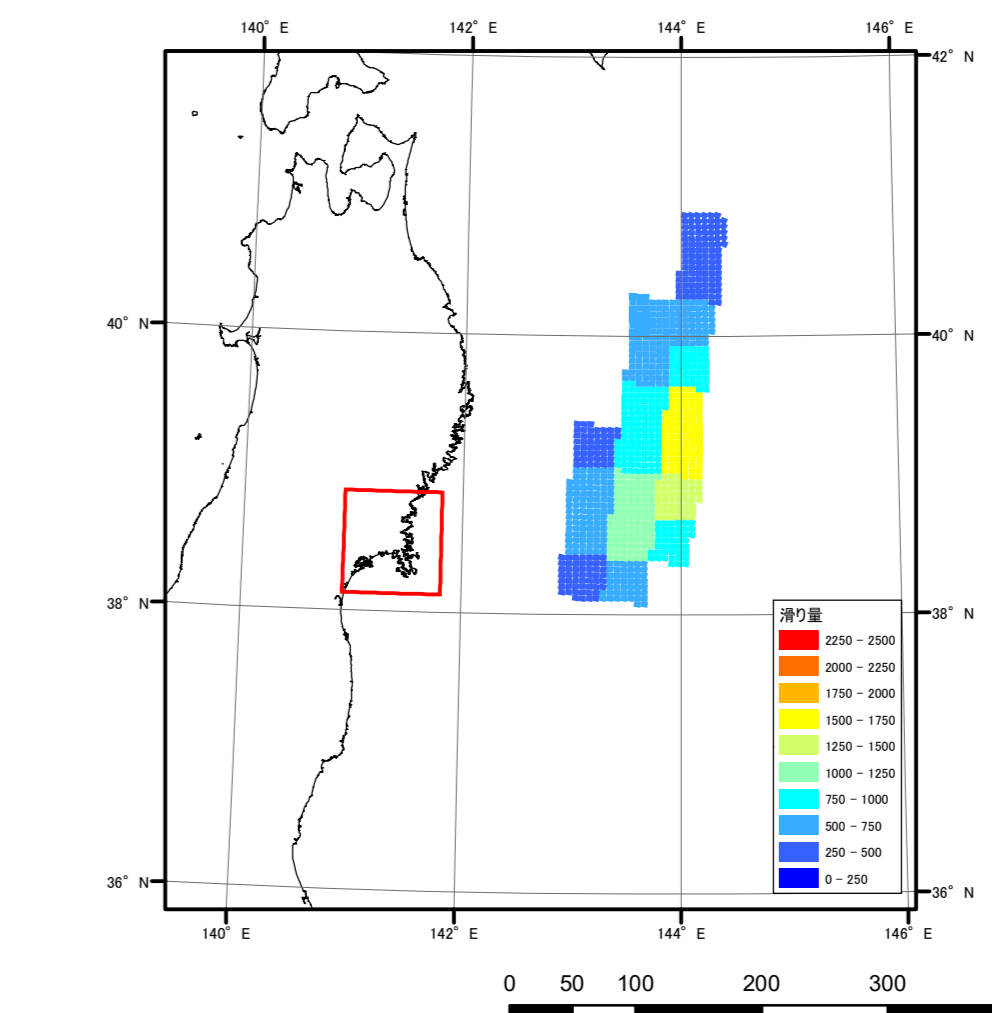


○ 流向・流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



明治三陸地震

モーメントマグニチュード Mw 8.6

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁
防災情報作成年月：平成29年11月 (初版)
地図データ作成年月：平成29年1月 (初版)